

# 写

所 議 第 3 9 7 号  
平成 2 9 年 1 0 月 3 1 日

所沢市議会政策研究審議会  
会 長 西 村 昭 治 様

所沢市議会議長 杉 田 忠 彦

## 諮 問 書

所沢市議会政策研究審議会条例（平成 2 8 年条例第 4 号）第 2 条第 1 項の規定に基づき、下記の事項について貴審議会のご意見を賜りたく、諮問いたします。

### 記

#### 1 諮問事項

- (1) 所沢市教育委員会における内部統制の整備・運用について
- (2) 集約型都市構造に関して、所沢市において議論すべき課題について
- (3) 議会評価報告書（平成 2 9 年 6 月評価及び平成 2 8 年 6 月評価）について

#### 2 諮問の理由及び背景

- (1) 所沢市教育委員会における内部統制の整備・運用について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成 2 7 年 4 月に施行され、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化などについて改められた。

しかし、所沢市においては、いじめや教員による不祥事などから、一部の保護者から第三者委員会の設置を求める動きもあるなど、教育委員会の責任や信頼性が問われる事態も起きている。

市民文教常任委員会では、こうした事態を受け教育委員会の内部統制につい

て調査研究を進めているので、所沢市議会政策研究審議会の意見をいただきました。

(所管：市民文教常任委員会)

(2) 集約型都市構造に関して、所沢市において議論すべき課題について

所沢市においては、現在、駅周辺のにぎわい創出と良好な住環境の整備を図るために、西武鉄道所沢車輛工場跡地を含む周辺一帯の街づくりを進めている。また、市街化調整区域の地域経済活性化に資する都市的土地利用にあたっては、線引きの見直し、地区計画等の制度活用を行い、計画的かつ適正に土地利用することとしている。

しかしながら、都市機能や行政機能を特定の地域に集約、また、それ以外の地域の市街地を抑制していき、密度の濃い拠点のネットワークを構築する、集約型都市構造への積極的な転換も考えていかななくてはならない。

建設環境常任委員会では、7月28日に川越市に「立地適正化計画」について視察を行った。首都圏ベッドタウンのような都市部においては、居住誘導地域とそれ以外とで線引きするこうした試みについては、様々な課題もある。今後、委員会において研究や議論を進めていくが、議論の一助とすべく、所沢市議会政策研究審議会からのご意見を賜りたい。

(所管：建設環境常任委員会)

(3) 議会評価報告書(平成29年6月評価及び平成28年6月評価)について

所沢市議会では、議会として進める議会改革等の取り組みの更なる改善を図るため、議会基本条例第30条及び所沢市議会議会評価実施要綱により、毎年自己評価を行っている。

昨年度、第三者的視点による評価を求める諮問を行い、「的確な評価を行うためにはその事業の詳細を把握する必要があるが、現行のフォーマットでは評価のための情報量が充分とはいえない状況である」旨の指摘をいただいた。

本諮問事項は、当該報告書の改善に係る意見を求めるため、検討に必要な資料を添えて、改めて諮問するものである。

報告事業中「議会ICT化の推進」事業については、平成26年より協議を始め、平成28年3月、「所沢市議会ICT化推進基本計画」を策定、「市民に

とってわかりやすい議会運営に資するため『所沢市議会ICT化推進基本計画』を実施する決議」を行ったところであるが、今後の計画推進、また、実現のため、特に意見を求めるものである。

(所管：議会運営委員会)